

## 平成28年度 第3回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成28年9月14日(水) 13:00~15:00  
場 所 百周年中村記念館 特別会議室

### 開 会

- 議長挨拶
- 欠席者等の案内 (資料1)
- 平成28年度第1回議事要旨の確認
- 平成28年度第2回持ち回り会議の審議結果 (資料2)

### 〔審議事項〕

- (1) 人事院勧告に伴う給与改定等について (資料3)

### 〔報告事項〕

- (1) 平成29年度予算の概算要求について (資料4)

### 〔その他〕

- (1) 研究戦略について
- (2) 研究紹介
  - ①工学研究院物質工学研究系応用化学部門 横野 照尚 教授  
「殺菌、抗ウィルス、炭酸ガス削減機能を持った先端光触媒ナノ材料の開発と産学連携による商品化」
  - ②情報工学研究院機械情報工学研究系設計システム部門 伊藤 高廣 教授  
「患者と医師双方の負担軽減のため、ワイヤレス給電技術を活用した「消化管内自走式カプセル内視鏡」の研究開発」
  - ③宇宙環境技術ラボラトリー 趙 孟佑 施設長  
「宇宙環境技術ラボラトリーの戦略」

- (3) 平成28年度経営協議会の開催日程について (資料5)

議長謝辞

閉 会

## 国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成28年度第3回）

1. 日 時 平成28年9月14日（水）13:00～15:09
2. 場 所 戸畑キャンパス 百周年中村記念館 特別会議室
3. 出席者 麻生委員，井上委員，小笠原委員，工藤委員，久保田委員，高原委員，  
谷委員，辻委員，松岡委員  
（五十音順）  
学長，理事（教育・学生担当），理事（研究・産学連携担当），  
理事（財務・評価・情報担当），理事（総務・労務担当），  
工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
4. 列席者 羽野監事，林田監事，学長特別補佐（男女共同参画担当担当），  
教養教育院長
  
5. 議長挨拶  
議長から，開会にあたり挨拶があった。
  
6. 会議成立  
構成員18名のところ，17名の出席により定足数を満たしていることが確認された。
  
7. 議事録の確認  
平成28年度第1回経営協議会（平成28年3月17日）の議事要旨の確認，また，  
平成28年度第2回持回り会議の審議結果について説明があり，了承された。
  
8. 審議事項  
(1) 人事院勧告に伴う給与改定等について （資料3）  
理事（総務・労務担当）から，平成28年度人事院勧告の概要並びに本学における  
給与改定の実施について説明があり，審議の結果，了承された。
  
9. 報告事項  
(1) 平成29年度予算の概算要求について （資料4）  
理事（財務・評価・情報担当）から，第2回経営協議会（持回り会議）で了承いた  
だいた平成29年度の概算要求について，改めて報告があり，次のとおり意見があっ  
た。  
（○：学外委員，△：学内委員）  
○： グローバル関連予算が昨年度から減額されているのはなぜか。  
△： 同予算は平成25年度より文部科学省から支援していただいている補  
助金であり，学生の海外派遣等に活用した。この予算は，当初より年々  
低減していく予算として支援いただいているもので，それに基づき減額  
したものである。

## 10. その他

### (1) 研究戦略について

理事（研究・産学連携担当）から、第3期中期目標期間における本学の研究戦略について説明があった。

### (2) 研究紹介について

本学における特色ある研究に取り組む以下の教育職員から、自身の研究について説明があった。

- ①所 属：工学研究院物質工学研究系応用化学部門 横野 照尚 教授  
紹介内容：殺菌、抗ウィルス、炭酸ガス削減機能を持った先端光触媒ナノ材料の開発と産学連携による商品化
- ②所 属：情報工学研究院機械情報工学研究系設計システム部門  
伊藤 高廣 教授  
紹介内容：患者と医師双方の負担軽減のため、ワイヤレス給電技術を活用した「消化管内自走式カプセル内視鏡」の研究開発
- ③所 属：宇宙環境技術ラボラトリー 趙 孟佑 施設長  
紹介内容：宇宙環境技術ラボラトリーの戦略

説明後、外部委員からは、次の意見等をいただいた。

(○：学外委員，△：学内委員)

- ： ノーベル賞を受賞できるよう一層研究に励んでいただきたい。
- ： 多くの外部資金を獲得するには、研究成果をきちんと説明し、また、スピード感を持って商品化を進めることが重要である。引き続き頑張っていたいただきたい。
- ： その分野の将来を見据えたうえで引き続き、教育研究に取り組んでいただきたい。  
また、専門が異なる方から得た客観的な評価を研究にフィードバックすることで、より進化した研究につながることから、多くの方と意見交換を行うことが重要である。
- ： 特許の所有権について、九州工業大学と企業との持分の割合について伺いたい。
- ： 湿度のある状況下では光触媒の性能を十分発揮できないそうであるが、その要因と脱湿せずとも通常の性能が得られる方法について、解明されているならば、伺いたい。
- ： 企業は、産学連携の促進が図れるよう資金提供しているが、企業からより多くの外部資金を獲得するためには、研究成果を他と比較し、その優位性の説明及び本学のコアとなる技術の明確化することが必要になってくる。
- ： 興味深い研究成果であるため、別の機会に専門的な質問をさせていただきたい。

○： 研究成果が商品化に結び付き、多くの外部資金獲得につながる研究を推進することが理想ではある一方、そうでないものも大切な研究であり、意見交換をしながら、研究を進めていくことが重要である。

**(3) 平成28年度経営協議会の開催日程について**

**(資料5)**

学長から、平成28年度の経営協議会の開催日程について説明があり、3月開催分は、飯塚キャンパスにて開催し、会議終了後に意見交換会を予定していることから、15時から開始する旨説明があった。